

運慶作の国宝・八大童子
ハルカスに降臨!!



高野山開創
1200年

高野山開創一二〇〇年記念

高野山の名宝

2015年1月23日金→3月8日日

Koyasan 1200th Anniversary — Treasures of the Sacred Mountain

開館時間＝火～金：午前10時～午後8時／土・日・祝日：午前10時～午後6時（入館は閉館30分前まで）
休館日＝月曜日（ただし、3月2日は開館【午前10時～午後6時】）
主催＝あべのハルカス美術館、高野山真言宗総本山金剛峯寺、高野山文化財保存会、読売新聞社
協賛＝関西アーバン銀行、きんでん、清水建設、損保ジャパン日本興亜、大和ハウス工業、日本写真印刷、非破壊検査

展覧会公式HP—— <http://koyasan2014.jp/>



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

国宝 八大童子像 運慶作 鎌倉時代・12世紀（一部、南北朝時代・14世紀）金剛峯寺

高野山の名宝

Koyasan 1200th Anniversary — Treasures of the Sacred Mountain

関連イベント

●講演会

「大師はいまだおわしますか」
日時＝2015年1月24日(土) 14:00～15:30
講師＝添田隆昭氏
（総本山金剛峯寺執行長、高野山真言宗宗務総長）

「高野山の歴史と名宝」
日時＝2015年1月31日(土) 14:00～15:30
講師＝山口文章氏
（総本山金剛峯寺執行、高野山真言宗山林部長兼宗務総長公室長）

「弘法大師空海・お大師様とともに……」
日時＝2015年2月7日(土)
14:00～15:30
講師＝家田莊子氏
（作家、高野山真言宗僧侶、高野山本山布教師）



※会場は各回ともあべのハルカス会議室です。
※定員は各回とも80名。
※講演会の参加は無料ですが、本展の観覧券（半券可）が必要となります。講演会当日13:30より、16階美術館前に入場整理券を配布します。

●声明ライブ

お経に旋律をつけて唱える仏教音楽・声明があべのハルカスに響きわたります。
日時：2015年1月24日(土)、31日(土)
①12:00～②16:00～
会場＝16階美術館前
※参加無料（各回約20分）

●こうやくん登場

「こうやくん」が美術館ロビーに遊びにきます。
日時＝2015年1月24日(土)、31日(土)
①11:30～②14:00～③16:30～
（登場時間 各回約20分）



©こうやくんPJ

観覧料（税込み）

	当日	前売・団体
一般	1,300円	1,100円
大学・高校生	900円	700円
中学・小学生	500円	300円

※団体料金は15名以上。
※障がい者手帳をお持ちの方は、ご本人と付き添い1名まで当日料金の半額。
※前売券は11月11日から2015年1月22日まで販売。
【チケット販売所】あべのハルカス美術館ミュージアムショップ、近鉄駅営業所、セブン-イレブン（セブンコード＝034-037）、チケットぴあ（Pコード＝766-441）、ローソンチケット（Lコード＝55979）、イープラス、CNプレイガイド、ファミリーマート、サークルKサンクスほか

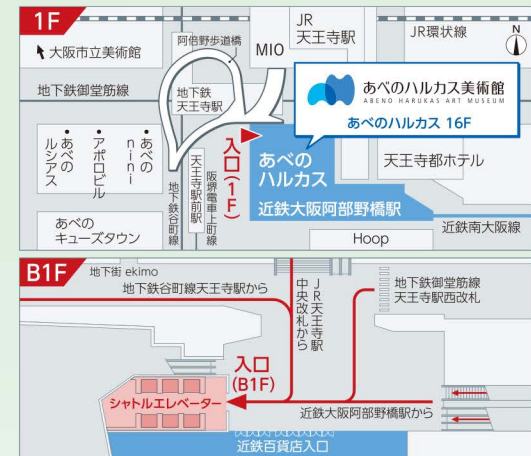
記念木札付チケット

一般のみ：1,600円（税込み）
高野杉に国宝・制多伽童子像をデザインした展覧会オリジナルの記念木札（非売品）がセットになったチケットです。セブン-イレブン（セブンコード034-037）でのみ、11月11日から販売。売り切れ次第終了。
※写真はイメージです。
※木札は会期中に館内ミュージアムショップにてお引き換えください。



音声ガイド

貸出価格：500円（税込み）
解説時間：約25分
ナビゲーターは檀れいさん（女優）
「1200年にわたる高野山の歴史とその至宝の数々をご案内します。」



アクセス

◎あべのハルカス美術館へはシャトルエレベーター【乗り口：地下1階または1階】をご利用ください。
◎近鉄「大阪阿部野橋駅」、JR・地下鉄「天王寺駅」、阪界上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ。
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
◎新大阪から：地下鉄御堂筋線新大阪駅～天王寺駅約21分
◎梅田から：地下鉄御堂筋線梅田駅～天王寺駅約15分
※所要時間は、昼間標準です。



〒545-6016 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
あべのハルカス16階 問い合わせ：06-4399-9050
【美術館公式HP】<http://www.aham.jp/>

【展覧会公式HP】<http://koyasan2014.jp/>



重文 四天王立像 快慶作 鎌倉時代・12～13世紀 金剛峯寺（左から、多聞天、広目天、増長天、持国天）

高野山開創一二〇〇年記念

高野山の名宝

弘仁七年（八一六）、弘法大師空海は密教修行の理想の場所として高野山の開創に着手しました。空海は命をかけて真言密教の基盤を作り、承和二年（八三五）、永遠に人々に救いの手を差し伸べるとの誓いを立ててこの地で入定されました。以来、高野山は時代や宗派を超え、今なお篤い信仰を集めています。千二百年の時の蓄積はまた、山上の地に「山の正倉院」とも例えられるわが国最大規模の仏教芸術の宝庫を形成しました。皇族や武家など時の権力者をはじめ全国各地から寄進された約五万点におよぶ品々は、信仰の歴史を映す鏡であり、かけがえない文化遺産として、連綿と受け継がれてきました。本展は、平成二十七年に執り行われる「高野山開創一二〇〇年記念大法会」に先立ち、高野山の至宝約六十件を展示し、その魅力をあますところなく披露するものです。空海

1章

大師の生涯と高野山

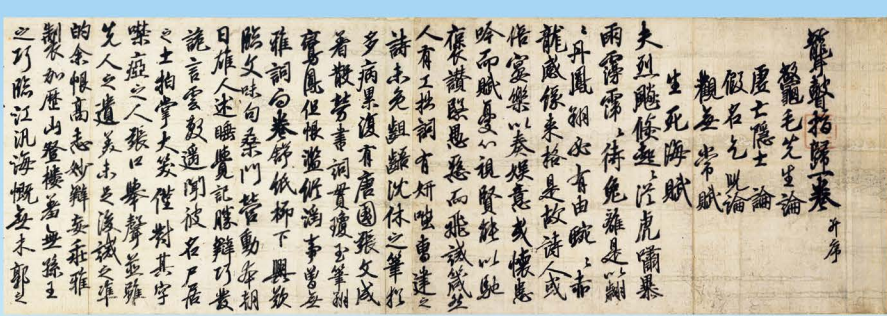
若き空海の息遣いをも感じさせる出家宣言の書「髻髻指帰」、恵果から密教の正統な継承者の証として賜った「諸尊仏龕」など、高野山に伝わる空海の遺品や、密教美術の原点ともいえる請来の品、また高野山開創に関わる宝物を紹介します。



弘法大師坐像（萬日大師）
室町・桃山時代・十六〜十七世紀
金剛峯寺

国宝 髻髻指帰 空海筆
平安時代・八〜九世紀 金剛峯寺
〔展示期間 上巻：2/10〜2/15
下巻：2/17〜2/22〕

重文 高野大師行状図絵
鎌倉時代・十四世紀 地蔵院
〔展示期間 第一巻：1/23〜2/8、
第三巻：2/10〜2/22、
第四巻：2/24〜3/8〕



上巻 巻頭

第三巻



重文 四天王独鈷鈴
中国・唐時代・八〜九世紀 金剛峯寺

2章

高野山の密教諸尊

密教の教えは奥深いので、文字だけではなく、絵画や彫刻などを用いることが理解の助けになるといふ空海の言葉どおり、造形を重視する密教では、仏像や仏画が盛んに制作されました。八軀が勢ぞろいする、鎌倉時代の大仏師・運慶による「八大童子像」は必見です。



国宝 諸尊仏龕
中国・唐時代・八世紀 金剛峯寺

重文 大日如来像
鎌倉時代・十三世紀 金剛峯寺
〔展示期間 2/17〜3/8〕



国宝 五大力菩薩像のうち金剛吼菩薩像
平安時代・十一世紀 有志八幡講
〔展示期間 1/23〜2/15 竜王吼菩薩像、無畏十力吼菩薩像は2/17〜3/8〕



3章

多様な信仰と宝物

篤い信仰の歴史が生み出した多様な仏教美術。それらにはかけがえない文化遺産として、今日まで大切に受け継がれています。なかでも快慶作の「四天王立像」と修理後初公開となる「執金剛神立像」は、圧巻の迫力です。



重文 不動明王坐像
平安時代・十二世紀 金剛峯寺



重文 執金剛神立像 快慶作
鎌倉時代・建久八年（一二九七）
金剛峯寺

国宝 澤千鳥螺鈿時絵小唐櫃
平安時代・十二世紀 金剛峯寺
〔展示期間 2/17〜3/8〕



重文 花蝶時絵念珠箱
平安時代・十二世紀 金剛峯寺
〔展示期間 1/23〜2/15〕



重文 孔雀明王坐像 快慶作
鎌倉時代・正治二年（一二〇〇）
金剛峯寺

作品保護のため、会期中に一部展示替えを行います。